

第37回 肝炎医療コーディネーター研修会(ハイブリッド開催)

令和7年 2月 28日(金)

参加申込者数:51名 (会場 15名、Zoom 36名)
 出席:32名 (会場 16名、Zoom 16名)
 欠席:20名 (会場 0名、Zoom 20名)

出席率:63%

演者・司会・コメンテーター・スタッフ:11名

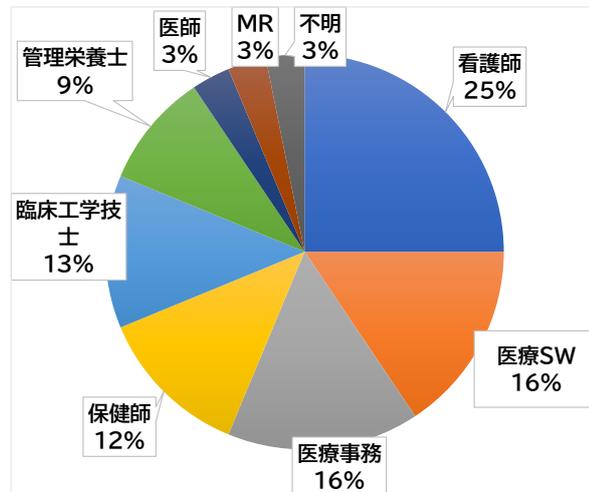
合計参加者:44名

アンケート回答者数:29名(演者等含む)

参加者の職業

看護師	8
医療SW	5
医療事務	5
保健師	4
臨床工学技士	4
管理栄養士	3
医師	1
MR	1
不明	1

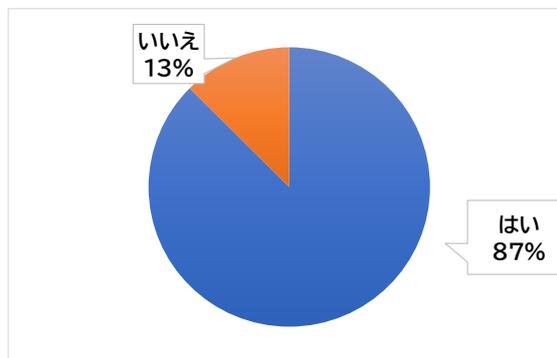
※演者・司会・コメンテーターを除く



肝炎医療コーディネーターですか？

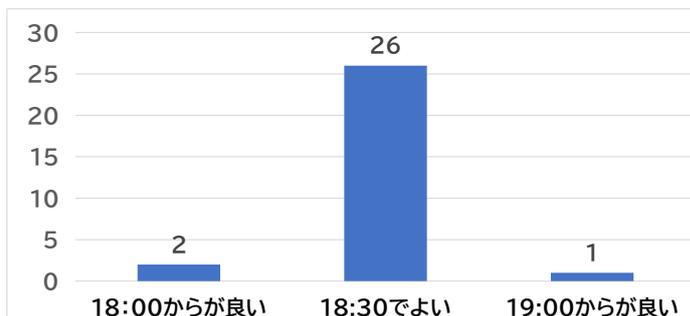
はい	28
いいえ	4

※出席者に対して



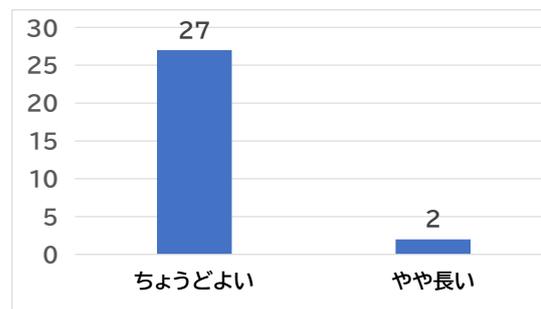
1. 開始時間について

18:00からが良い	2
18:30でよい	26
19:00からが良い	1



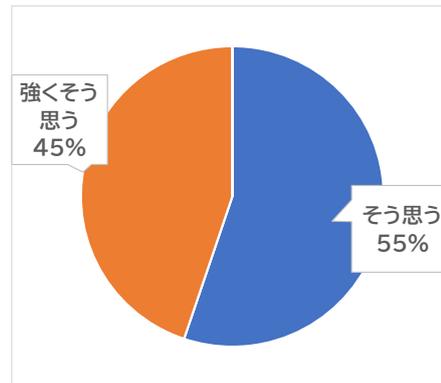
2. 開催時間80分について

ちょうどよい	27
やや長い	2



3. 今回の研修会は役に立ちましたか、または役にたちそうですか

そう思う	16
強くそう思う	13
どちらとも言えない	0
あまりそう思わない	0
全くそう思わない	0



4. 具体的にどのような点が役にたちそうですか

弁護士の方の説明が参考になりました

難しい内容もありましたが、B型肝炎の知識が深められたこと、当事者の思いを直接伺うことができ、より身近な事として考えることができたため。

知識を得ることが今後の援助に役立つと思った

知識の復讐。患者さんの立場の理解。

実際の患者さんや弁護士の方のお話がとても興味深かった

今回の研修で肝臓、腎臓と変化して、今、裁判で戦っている思いが、患者さんの声が強く胸に響いた。肝炎の患者さんの思い・現状について知ることができた。肝炎訴訟の事、流れについても同じ。肝疾患の学びと啓発活動の重要性を学習することができた。広い世代に人権尊重を普及していくためにどうすると良いか？考える研修となった。肝炎患者の悩み・相談について少しでも寄り添ってコーディネーターとして関わる事の大切さを改めて感じた。

国の支援制度について。原告代表の方のお話。

原告の方の話を初めて聞き、勉強になりました。

血液データの見方

患者さんの話を聞いて差別・偏見が分かった。

医師、弁護士、患者とそれぞれの立場から話を聞いたことは貴重でした。

いろんな方面からのお話がきけて、とても参考になりました。

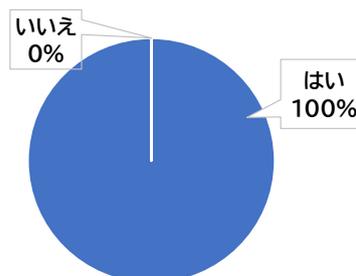
B型肝炎の理解を深められたことと、当事者の方の声を聴くことで今後の患者支援に役立てられると思ったためです。

B型肝炎の方の経験談、弁護団の方の話、訴訟の対象等

B型肝炎。知識の整理ができた。

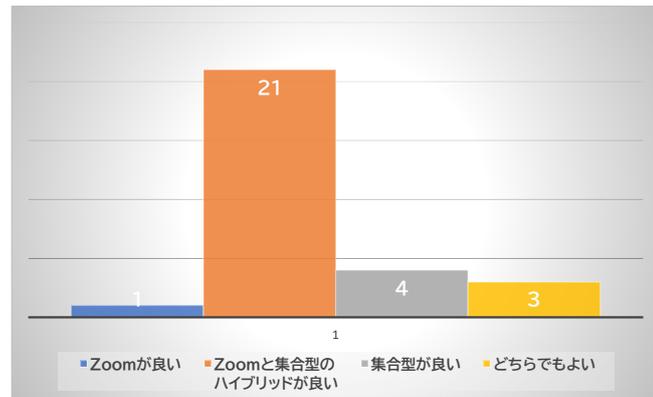
5. 次回参加したいですか

はい	29
いいえ	0



6. 次回研修会の開催方法について

Zoomが良い	1
Zoomと集合型のハイブリッドが良い	21
集合型が良い	4
どちらでもよい	3



7. よろしければその理由をお聞かせください

スケジュールの調整しやすく、参加しやすいため。

遠方なのでどちらも選べるのは助かります

会場にこれない場合もあるのでZoom開催助かります

急に出席できなくなった時 Zoomで参加できる

業務都合にあわせて参加できるため

勤務の都合によって選べるから。

県内各地の方が参加できるので。

現地が遠いため

参加しやすい。

参加できる媒体を増やしてほしい。

参加数が増えるので

時間に間にあわない

集合型だと時間的に参加できない場合があるから

人と対面することで現場の感情が伝わる良い研修となる。また、多忙で来れない方にとっても参加できるよい研修であるから。

直接の方が印象に残る

8. 今後、聞きたい講演や取り上げてほしいテーマ等あれば、自由記述してください。

アルコール性肝炎の治療と関わり・指導について。

参加施設一覧

大分循環器病院、大分赤十字病院、鶴見病院、別府医療センター、中津市民病院、大分大学医学部付属病院、アルメイダ病院、新別府病院、コスモス病院、大分県立病院、織部消化器科、児玉病院、みえ病院、宇佐市役所、大分市役所、大分市保健所、由布市役所、にのみや内科、浜田消化器科内科、杉谷診療所、アツヴィ合同会社

ご参加、ありがとうございました。